

製品名: LMNB2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81665**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	67.7kDa

抗原情報

遺伝子名	LMNB2
別名	LMN2; LAMB2
遺伝子 ID	84823.0
SwissProt ID	Q03252
免疫原	大腸菌で発現したヒト LMNB2 (AA: 401-600) の精製された組み換え断片。

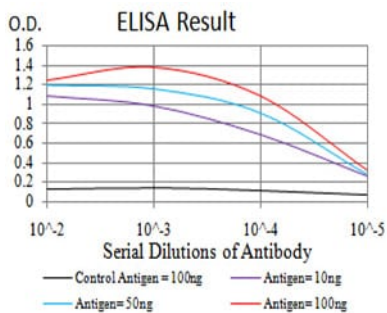
背景

この遺伝子は B 型核ラミンをコードします。核ラミナは、核内膜に隣接する二次元タンパク質マトリックスで構成されています。ラミンファミリータンパク質はマトリックスを構成し、進化の過程で高度に保存されています。有糸分裂中、ラミンタンパク質がリン

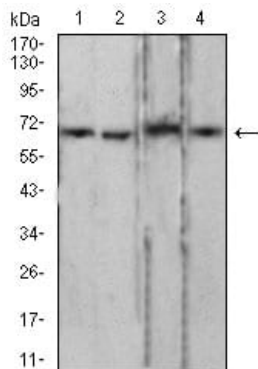
酸化されるにつれて、ラミナマトリックスは可逆的に分解されます。ラミンタンパク質は、核の安定性、クロマチン構造、および遺伝子発現に関与していると考えられています。脊椎動物のラミンは A 型と B 型の 2 種類に分類されます。この遺伝子の変異は、後天性部分性リポジトロフィーと関連しています。

研究分野

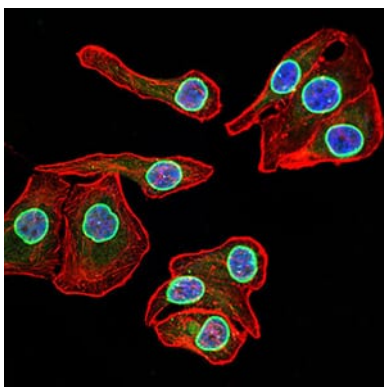
画像データ



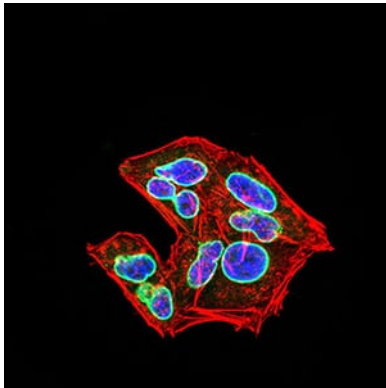
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



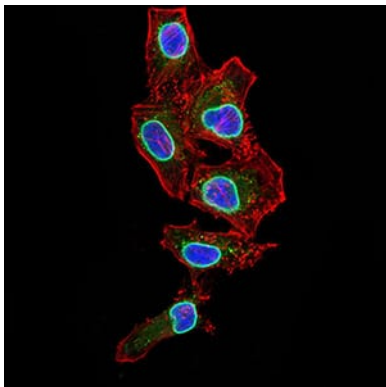
PC-3 (1) 、LNCap (2) 、Jurkat (3) 、および HCT116 (4) 細胞溶解物に対する LMNB2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



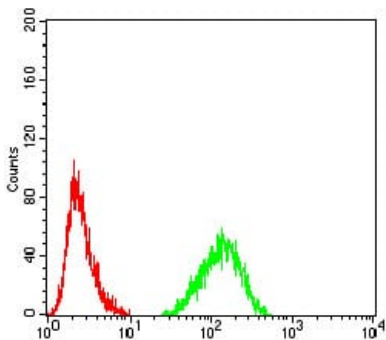
LMNB2 マウス mAb (緑) を用いた GC-7901 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



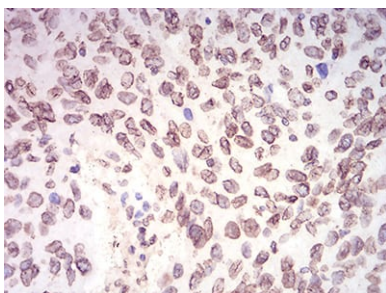
LMNB2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



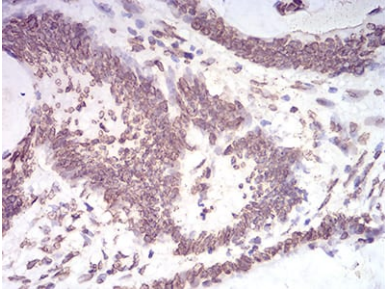
LMNB2 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



LMNB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



LMNB2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



LMNB2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。